



佐伯の食材、給食で舌鼓

レンコン入りハンバーグやスープ



自分たちで考案したレンコン入りのハンバーグを食べる児童。佐伯市米水津小

米水津小5、6年生が献立考案

【佐伯】佐伯市米水津小の5、6年生17人が佐伯産食材を使って考案した料理が1日、市内の学校給食に登場した。

郷土愛を育てようと、市とフードサービス業LEO C（本社・東京都）が取り組む「KIRAKIRAA食育授業」の一環。児童は1年間かけ、地元生産者と交流しながらオリジナル献立作りを進めてきた。

給食に出したのは、市内の

農家が栽培したレンコン入りのハンバーグと具だくさんのスープ。幼稚園や小学校計5校の給食で提供され、約270人の子どもたちが食べた。

レンコンのメニューを担当したグループの植田涼君（11）と山田彩結さん（11）いずれも5年。は「おいしい。食育授業での楽しかった事を思い出した」と話した。

（小松和茂）

〔問①〕「舌鼓」という言葉の意味を調べなさい。

〔問②〕小学生が考えたメニューは何ですか。2つ答えなさい。

- ・ () 入りの ()
- ・ () だくさんの ()

〔問③〕あなたが考えた給食メニューを紹介しましょう。

図と説明、材料、作り方など